

邑楽北地区地区計画（仮称）策定についての アンケート結果【概要】

アンケート実施期間

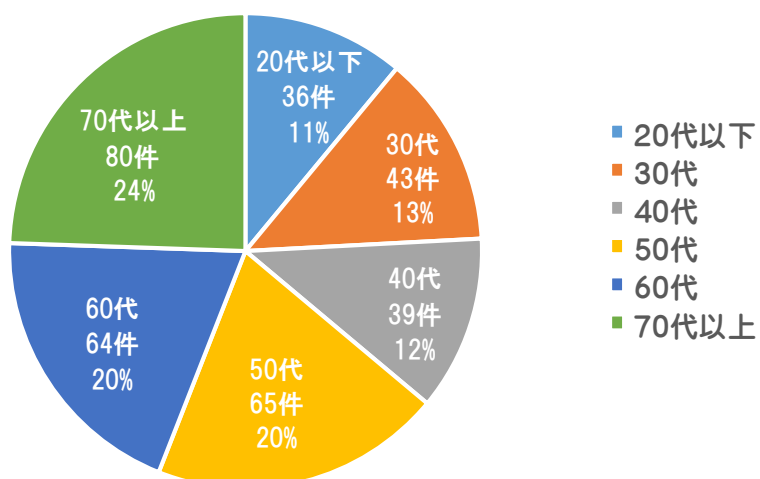
令和8年3月18日から令和8年4月8日

アンケート実施方法

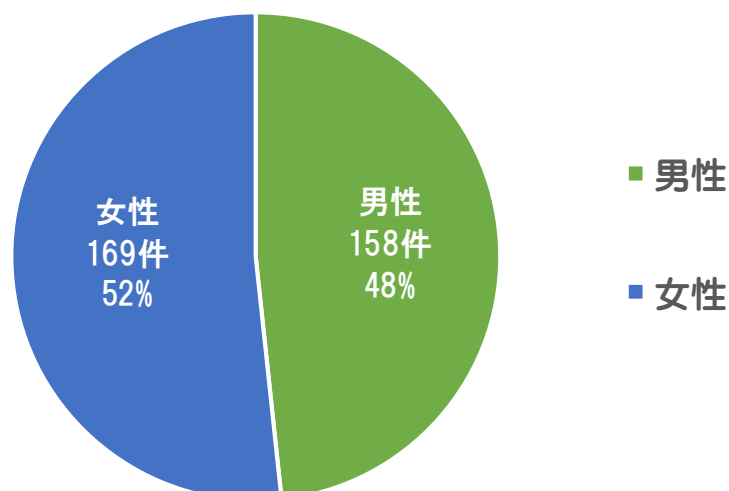
インターネット回答およびアンケート用紙の配布

回答総数：327件

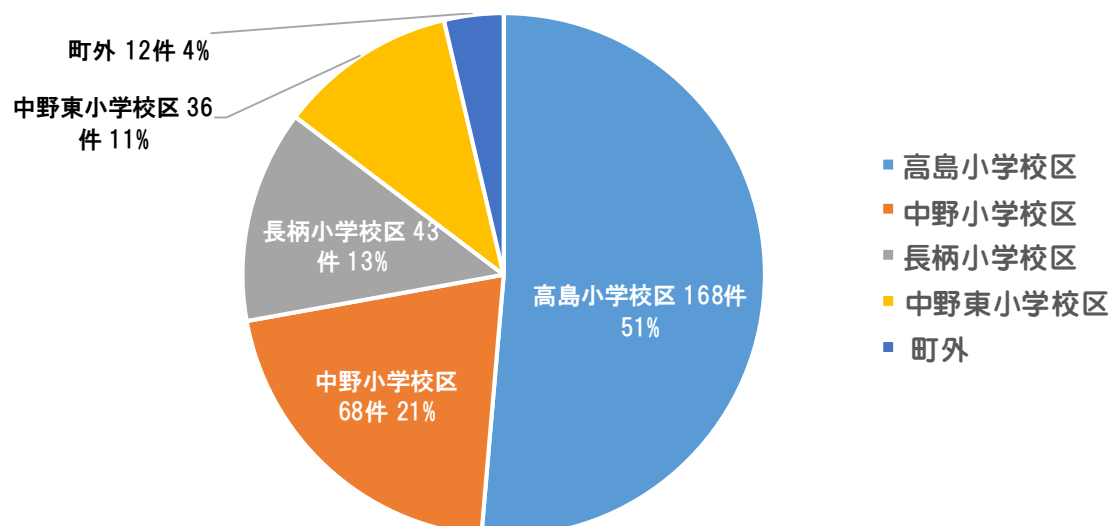
1. 回答者の年齢: (20代以下 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代以上)



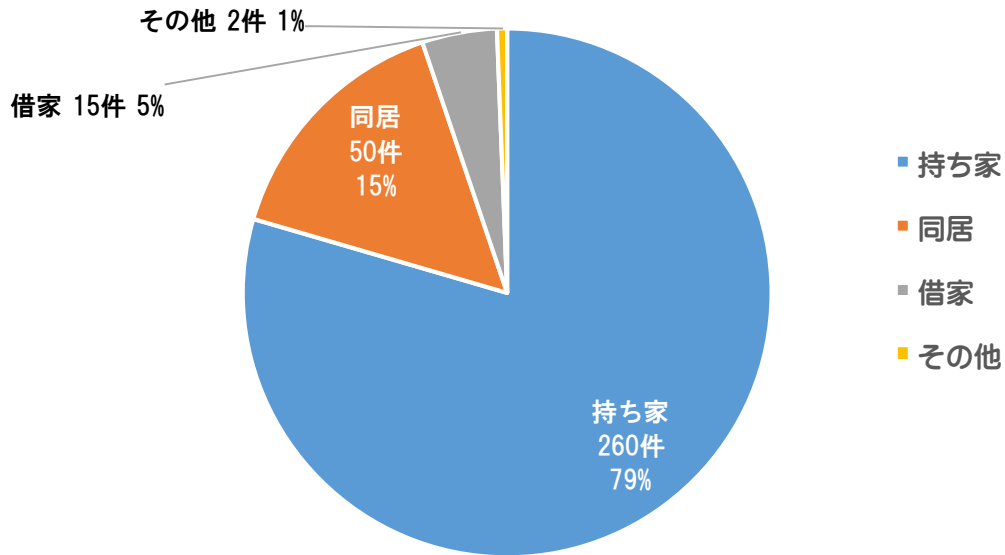
2. 回答者の性別: (男性/ 女性 / その他)



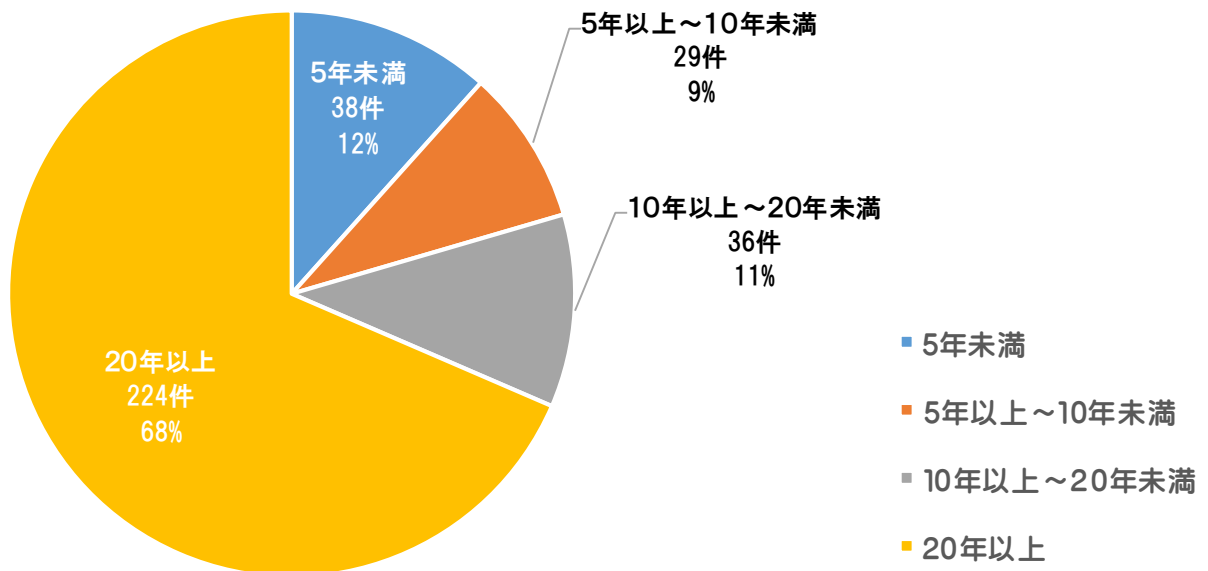
3. 回答者のお住まいの学校区 (高島小学校区 / 中野小学校区 / 中野東小学校区 / 長柄小学校区 / 町外)



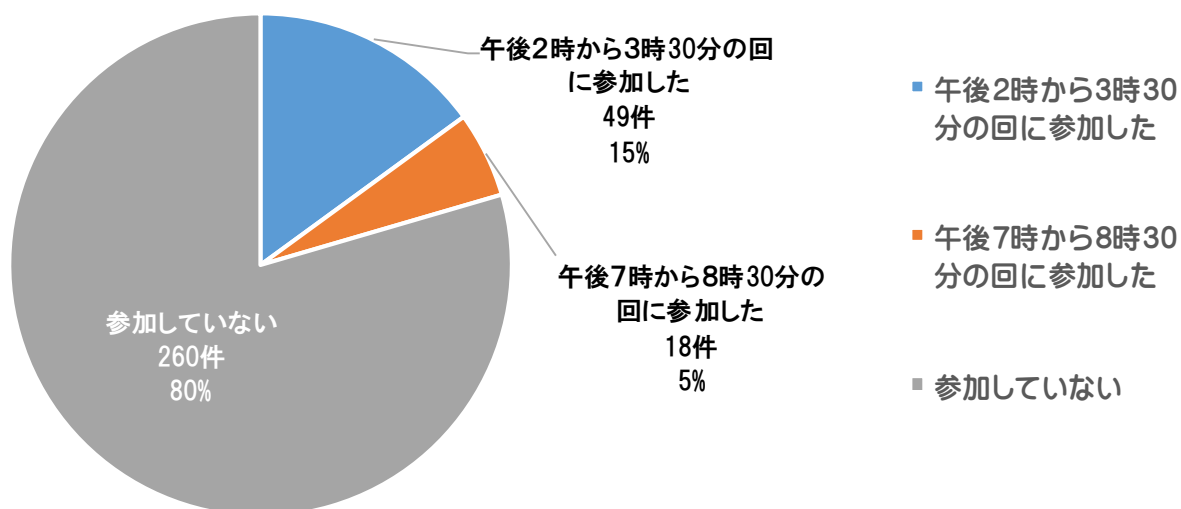
4. 回答者の居住形態: (持ち家 / 借家 / 同居 / 町外在住の地権者 / その他)



5. 居住年数: (5年未満 / 5年以上～10年未満 / 10年以上～20年未満 / 20年以上)

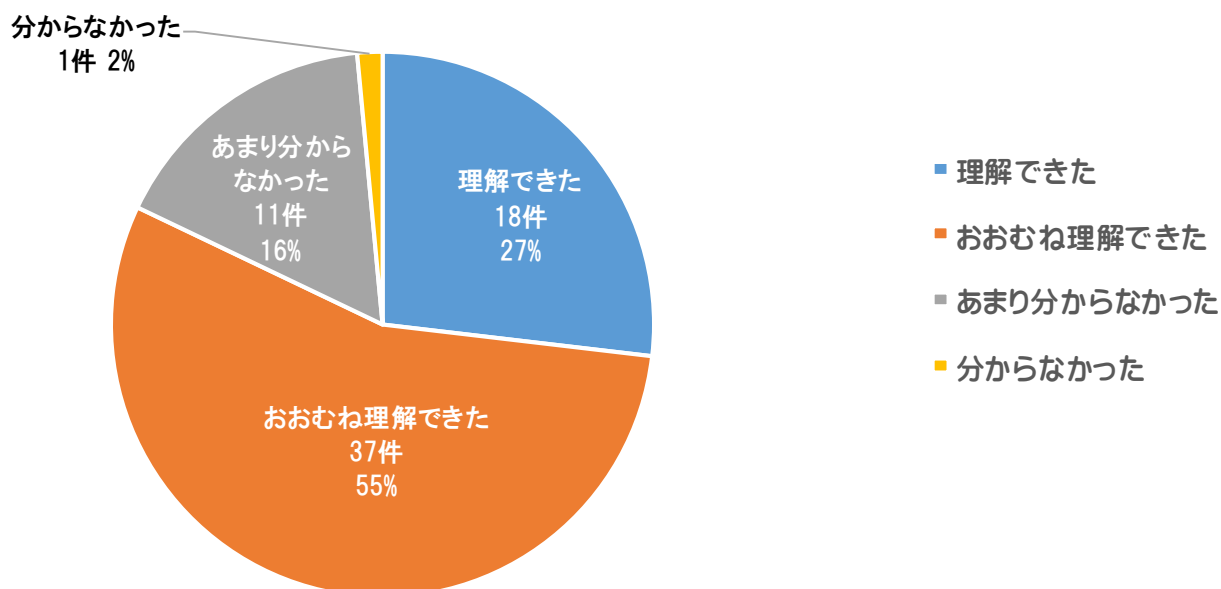


6. 令和8年3月18日(水)に役場で行われた、邑楽北地区地区計画(仮称)の説明会に参加されましたか？



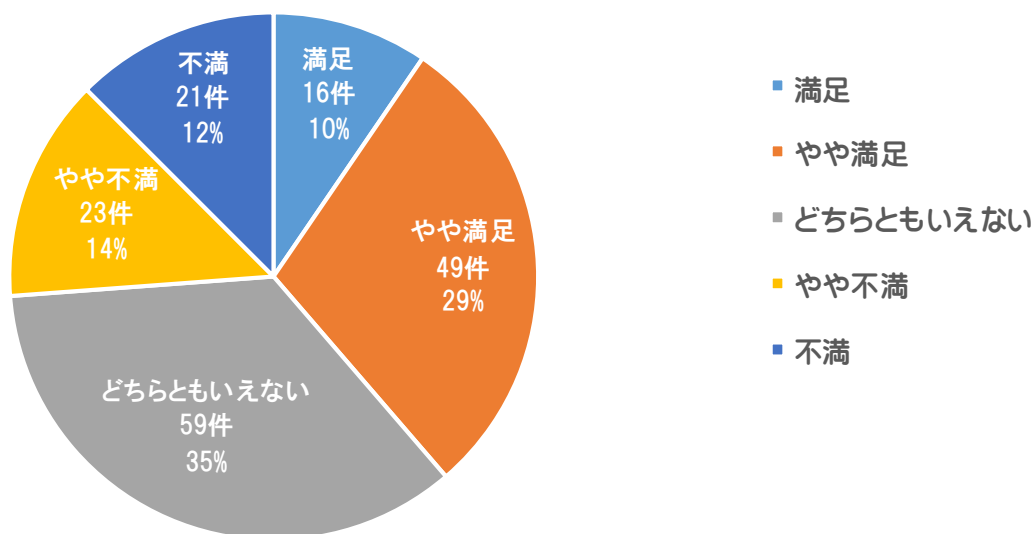
<説明会へ参加された方へお伺いします>

7. 説明会の内容は理解できましたか？

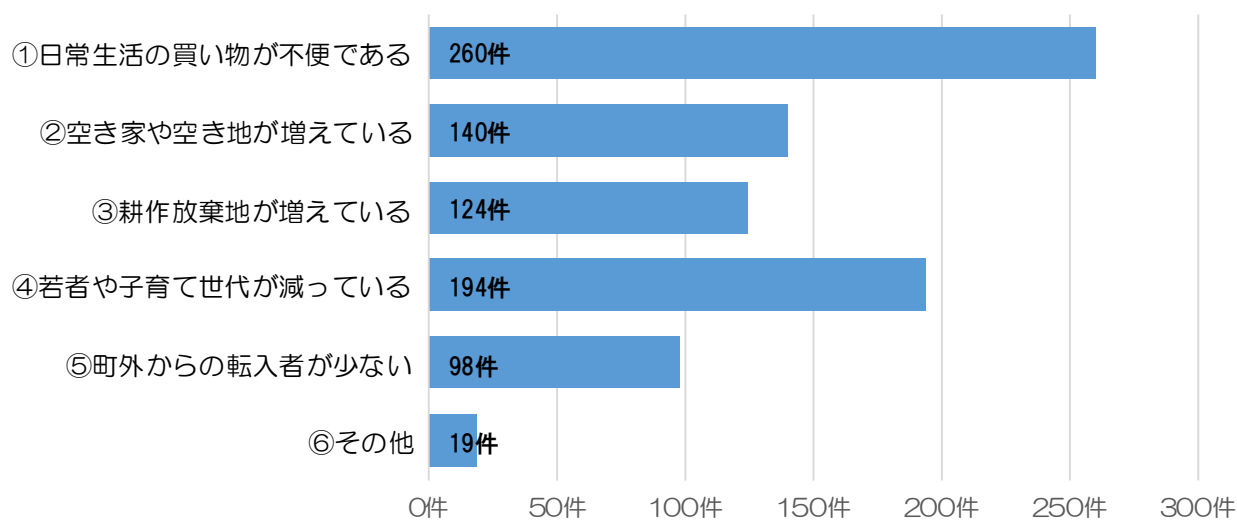


<現在の高島地区についてお伺いします>

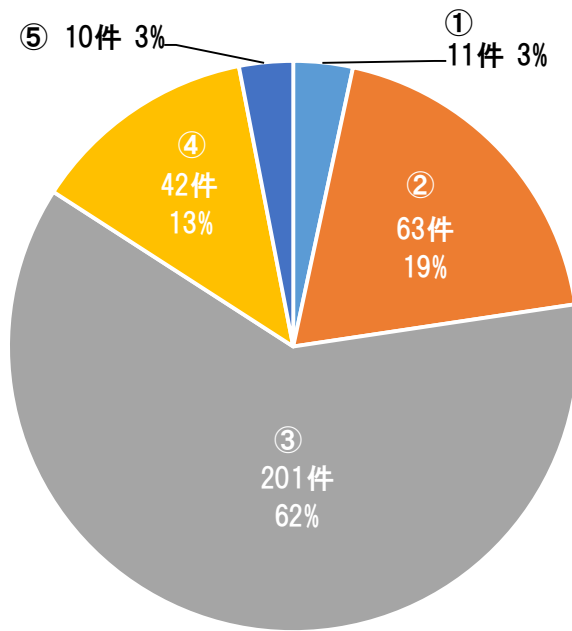
8. 現在の高島地区の住み心地はいかがですか？



9. 高島地区の「困っていること・課題」は何だと思いますか？（複数回答可）

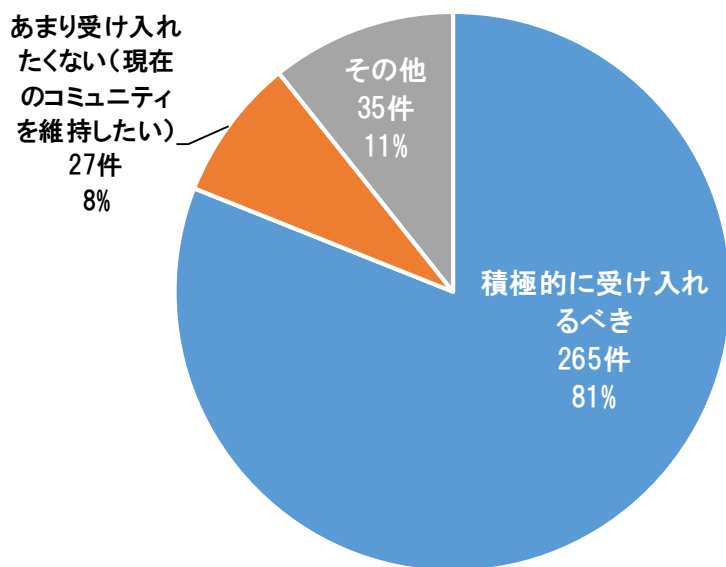


10. 今後、高島地区はどのようになっていくのが望ましいと思いますか？



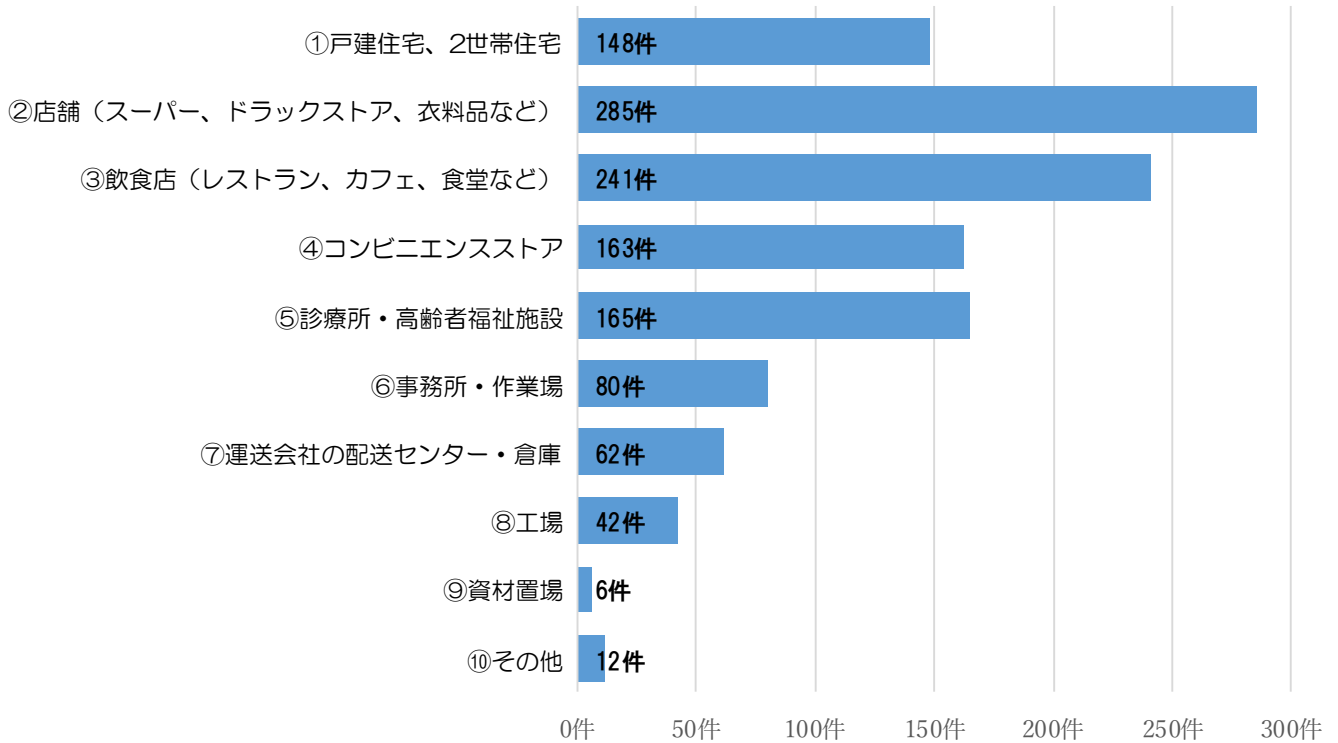
- ① 現在のまま、町外出身者など元々地域に縁のない人の住宅は制限しつつ、地元の人やその子ども・親族などが住めるような住宅のみ建てられるよう維持した方がよい。
- ② ①に加えて、生活利便性を高めるため、食品・日用品、飲食店など一定規模の店舗が建てられるようになるとよい。
- ③ 町内外の出身に関わらず、誰でも住宅を建てられるような地域とし、生活利便性を高めるため、食品・日用品、飲食店など一定規模の店舗が建てられるようになるとよい。
- ④ ③に加えて工場や資材置場など産業施設も建てられるようになるとよい。
- ⑤ その他

11. 地域活性化のために、新しい住民(町外からの転入)を受け入れることについてどう思いますか？



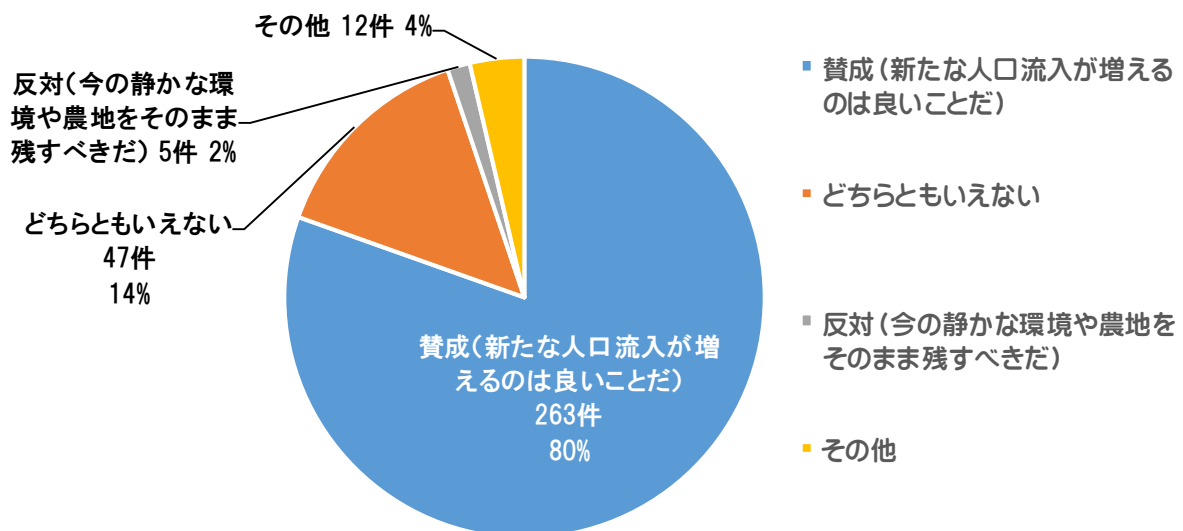
- 積極的に受け入れるべき
- あまり受け入れたくない(現在のコミュニティを維持したい)
- その他

12. 今後、国道 122 号や幹線道路沿いに建築を認めても良いと思う施設はどれですか？（複数回答可）

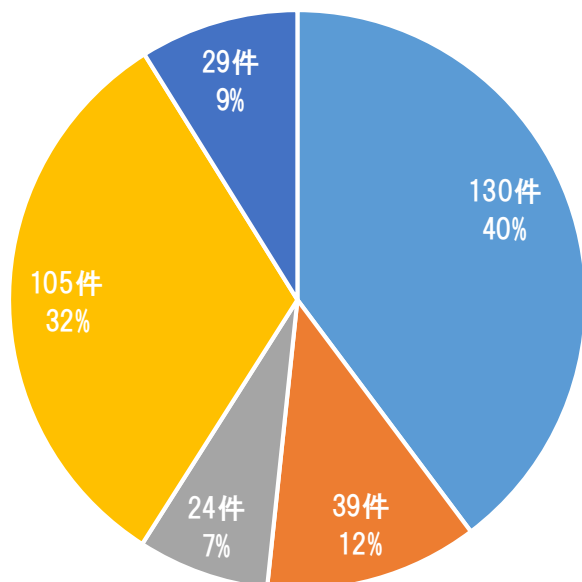


<邑楽北地区（仮称）地区計画についてお伺いします>

13. 邑楽町では「邑楽南地区（篠塚）」において、国道沿いに店舗を誘導し、その裏手に住宅地として利用できる地区計画を設定しました。国道 122 号沿線でも、「邑楽北地区（仮称）」として同様のルール作りを行うことについてどう思いますか？

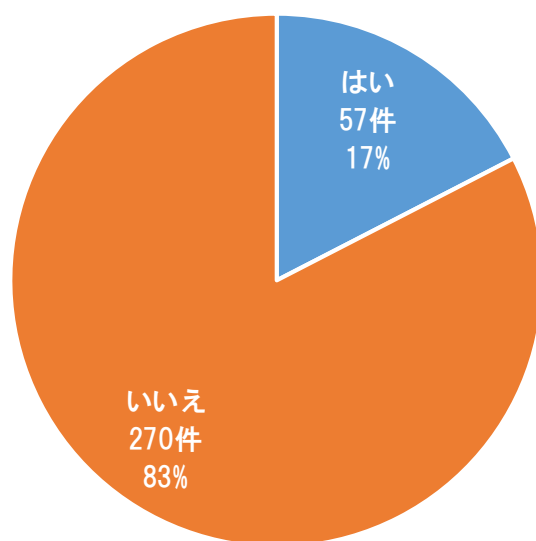


14. 地区計画（邑楽北地区（仮称））を作ると、現在と違い誰でも家が建てられるようになる等のメリットがある反面、「建築可能なエリア」は現在の大規模指定既存集落制度（邑楽中学校区に在住・在勤通算で10年以上ある方の住宅のみ建築可能）よりも建築出来る範囲が狭くなる可能性があります。これを踏まえ、今後の邑楽北地区（仮称）の方向性についてどう考えますか？



- 邑楽南地区と同じ規模（約100ha）で計画すべき（それ以下なら、現在のままの方が良い）
- 邑楽南地区の7割程度（約70ha）以上なら進めるべき（それ以下なら、現在のままの方が良い）
- 邑楽南地区の半分程度（約50ha）以上なら進めるべき（それ以下なら、現在のままの方が良い）
- どんな面積でも進めるべき
- その他

15. 国道122号沿線の高島地区に土地をお持ちですか？



- はい
- いいえ

<上記で【はい】とお答えの方のみご回答ください>

16. 地区計画（邑楽北地区（仮称））により、国道 122 号沿いで店舗建築や、裏手で宅地分譲が可能になった場合、土地活用を検討しますか？

